

「本校の教育理念」

——校長からのメッセージ——

校長 久 門 道 利

本校は、敬心学園に最初（1984年）に創立された学校です。「敬心」という語を学園名に付し、その語意である「自分を律し、他者を敬う」を学園の理念としたのは、医療・福祉のスペシャリストの養成教育を行うことをモットーにすることを社会に宣言するためでした。医療・福祉のスペシャリストは、医療・福祉の対人サービスを基本とする業務を担う者としての人間性と、もう一つは日進月歩する一定の知識・技術の習得とその自己管理が問われるからです。

本校の教育の基本精神は、敬心学園建学の理念に沿う「就学実践」（学理を究めることだけを追求するのではなく、実践力の育成により重点を置き、その中で理論的力をやしなうものでなければならないこと）と「応能接心」（適性に応じ、真心をもって事にあたるといふことで、人間形成に励むことを意味する）の二つです。本校は、これを基に人類の医療・福祉の向上と世界平和の促進に貢献できる人材の育成することを目指しています（高田校舎玄関入口の1階エレベーター横に「雄志三慧」と題したレリーフが飾られています。「雄志」とは勇氣を持った志、「三慧」とは、聞思修によって得る智慧のことで、学生の志と勉学の意欲を願う象徴であり、このレリーフは3人が互いに手を携えて力を合わそうとしている図です。互いに智慧を出し合い力を合わせれば非常に強い力を発揮するというもので、医療でいえばチーム・キュアに、福祉でいえばチーム・ケアに通じるとの願いを込めたものです）。

創立以来、教育の基本精神である「就学実践」と「応能接心」を教育理念に置き換え、医療・福祉の第一線で活躍するスペシャリストを養成してまいりました。

医療・福祉のスペシャリストが提供するサービスは、人間が人間に直接提供するサービスですので、利用者の尊厳の保持を前提としています。科学は先に述べたように、日進月歩です。スペシャリストはそれまでの経験や勘だけで支援・実践していくことは許されません。科学的根拠のない支援・実践は、利用者やその関係者、職場の方々に多大な迷惑や不利益を与える可能性もあります。

このように考えると、スペシャリストには3つのHが必要になります。1つは、いかなる状況に置いても冷静な専門的判断ができる Head[頭]、利用者に対する温かい Heat(心)と役立つ Hand[手]が必要になります。それらは日頃の研鑽のなかで、身につけることができるものです。

少子・高齢化が進む社会において、産業構造、地域社会、家族、そしてあらゆるものが変わる中で、医療と福祉のスペシャリストをめざす学生の皆さんには、私から本校の建学の精神に沿う3つのHを身につけて頂けることを、切にお願いしたいということです。